

令和3年度 胡屋保育園の自己評価

良くできた〔4〕 できた〔3〕 普通〔2〕 もう少し〔1〕

《基本項目》		1	2	3	4	総合
1	保育の基本（保育指針・教育要領）を理解している。	3	8	4	0	2
2	園の理念や保育目標を理解している。	1	7	6	1	2
3	園の全体的な計画（保育過程・教育課程）を理解している。	3	6	6	0	3
4	園の理念や方針に基づき、指導計画を立てている。	3	5	7	0	3
5	定期的に自己評価をして、保育の改善に努めている。	7	6	2	0	1
6	保育の計画や実践に向けて、創意工夫に努めている。	6	4	5	0	1
7	自分の保育の良さと課題を認識している。	3	8	4	0	2
8	すぐにでも取り組まないといけない課題を改善し努力した。	5	9	1	0	2
9	保育雑誌や専門書などを讀んだりして、保育の情報を集めている。	1	7	7	0	3
10	園の会議などで子どもの利益を一番に考えて発言している。	5	5	5	0	2
11	業務上知りえた個人情報などの秘密を守っている。	0	0	9	6	3
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画に基づいて保育を展開するが、思うよう実践できなかった。 ・保育者は子どもの対応に理解を深め努めていきたいと思えます。 					

こどもへの関わり

《生命の保持・心の安定》		1	2	3	4	総合
12	ひとりひとりの発達を理解して接している。	1	6	8	0	3
13	ひとりひとりの生理的欲求が満たされるように配慮している。	1	8	6	0	3
14	登園時に優しく声をかけるなど、状況に応じて対応している。	1	5	8	1	3
15	わかりやすい言葉でおだやかに話しかけている	2	8	5	0	2
16	子どもが何を求めているのか、常に配慮して接している。	4	6	4	1	2
17	子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するとよ努めている。	1	6	8	0	3
18	静止やせかさす言葉を不必要に使わず、ひとりひとりに合わせた対応をしている。	5	9	1	0	2
19	「あとで」などと待たせず、なるべくその場で対応している。	3	11	1	0	2

《健康・安全》		1	2	3	4	総合
20	食事や排せつなどの生活に必要な活動に自ら取り組むように配慮している。	2	4	8	1	3
21	食事やおやつを楽しめる雰囲気づくりをしている。	3	6	6	0	3
22	子どもが育てたものを食事やおやつに出し、一緒に食べるなど食育に心がけている。	4	9	2	0	2
23	偏食や食べ残しを直すために過度に叱らないよう配慮する。	0	4	11	0	3
24	トイレの後や食前の手洗いなど、清潔する習慣が身につくよう働きかけている。	1	5	7	2	3
25	体を動かせることを楽しむように働きかけている。	3	3	7	2	3
26	危険を意識して行動するよう、安全について指導している。	1	7	6	1	2

《人との関わり》		1	2	3	4	総合
27	友達との関わりで、友達の良さや大切さに気づくようにしている。	1	7	7	0	3
28	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように配慮している。	1	6	7	1	3
29	順番を守るなどのルールが身につくように配慮している。	1	7	6	1	2
30	活動を通して、共用の道具や遊具を大事にすることを体験できるようにしている	2	7	4	2	2
31	人との心が通じ合える喜びを伝えるように接している。	1	7	6	1	2
32	異年齢の子どもと関わることを大切にしている。	8	7	0	0	1
33	外国の人や文化の違う人に親しむ機会をつくっている。	14	1	0	0	1
34	地域の人や高齢者と親しむ機会をつくっている。	14	1	0	0	1
35	家族の愛情に気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育てている。	4	7	3	1	2

《表現活動》		1	2	3	4	総合
36	美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会をつくっている。	2	9	2	2	2
37	感じた事や考えた事を自由に表現する機会をつくっている。	3	8	4	0	2
38	子どもが自由に歌ったり、踊ったりすることを楽しめるようにしている。	2	6	7	0	3
39	さまざまな素材や用具と接し、自分で工夫して遊べるようにしている。	5	6	4	0	2
40	子どもの作品を大切に扱い、工夫して飾るなどしている。	8	3	3	1	1

《言葉》		1	2	3	4	総合
41	心のこもったあいさつをしている。	1	5	8	1	3
42	正しく、丁寧な言葉で話しかけている	3	10	2	0	2
43	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉を相手の気持ちを大切にしている。	0	6	6	3	3
44	わからないことわ子どもが聞けるなど、安心して話ができる雰囲気をつくっている。	3	4	7	1	3
45	子どもが人前で話をするときに、相手にわかりやすく話せるよう、援助している。	3	5	6	1	3
46	読み聞かせのときに言葉の楽しさなど伝わるように配慮している。	3	3	7	2	3
改善策	・子どもにとって安心して、過ごせる生活の場となるように職員間で共通理解し、よりよい保育が出来るように努めていきたい。					

こどもへの関わり

《生命の保持・心の安定》		1	2	3	4	総合
47	ひとりひとりが安心して過ごせる環境づくりを心がけている。	3	7	3	2	2
48	自然とのふれあいを大切に心が豊かになるよう配慮している。	8	5	1	1	1
49	四季に応じて、保育室の環境を整えている。	7	5	2	1	1
50	保育室の温度や湿度、通風に配慮している。	0	7	5	3	2
51	適切な声の大きさに接している。	2	8	5	0	2
52	子どもが不安になったり、話しかけてきたりしたときに応じられるようにしている。	0	7	5	3	2
53	トイレや手洗い場を清潔に保っている。	0	5	7	3	3
54	遊具、おもちゃ、砂場などの点検や消毒を定期的に行っている。	0	3	6	6	4
55	必要な場所に転倒防止対策をしている。	1	9	5	0	2
56	不審者などの侵入を防ぐ対策をしている。	6	8	1	0	2

保育環境

《環境づくり～成長を促す》		1	2	3	4	総合
57	発達に合ったおもちゃや遊具を用意している。	3	6	4	2	2
58	子どもの動線を考えて、遊具や用具などを配慮している。	3	6	4	2	2
59	子どもが身近な動植物にふれあう機会をつくっている。	11	3	1	0	1
60	ひとりひとりの興味に合わせて、好きなあそびができるようにしている。	4	7	2	2	2

61	園外保育で、公共機関などを利用し、地域に興味を持てるようにしている。	9	4	2	0	1
62	伝統的な行事を生活の中に取り入れている。	8	3	4	0	1
63	日常的な生活や環境の中で標識や文字に関心を持つ工夫をしている。	8	5	2	0	1
改善策	・子どもひとりひとりに応じた、保育の環境づくりをし安心して過ごせるように努めています。					

保護者支援

《保護者との関わり》		1	2	3	4	総合
64	保育指針や内容を保護者にわかりやすく説明している。	11	4	0	0	1
65	個々の家庭の養育方針を理解している。	7	4	4	0	1
66	送迎時や連絡帳などで日常的な情報のやり取りを大切にしている。	2	6	5	2	2
67	必要に応じて、保護者との個別面談を行っている。	8	4	3	0	1
68	懇談会など、保護者との意見交換の機会を設けている。	13	2	0	0	1
69	緊急時は電話などで、迅速な連絡を行っている。	3	2	7	3	3

《支援》		1	2	3	4	総合
70	家庭と協力して、子どもが健康的な生活リズムを身につけられるようにしている。	3	5	7	0	3
71	子どもの育ちの過程を伝え合い、共通理解に努めている。	3	4	7	1	1
72	保護者の保育参加など子育てについて共通理解を得るための機会を設けている。	14	1	0	0	1

《マナー》		1	2	3	4	総合
73	すべての保護者に対して、親しみを込めたあいさつや会話をするように心がけている。	0	6	5	4	2
74	丁寧な言葉や敬語を使っている。	0	7	7	1	3
75	子どもの体調不良などの連絡時に伝達方法に配慮している。	1	6	7	1	3
76	苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。	4	6	4	1	2
改善策	・コロナ禍で保護者との話合う場が少なかったことで、共通理解が足りなかったと感じた。					

他の保育者との関わり

《良好な関係と協働性》		1	2	3	4	総合
77	園長や主任、同僚を尊重し、良好な関係を築いている。	1	7	6	1	2
78	園長や主任、同僚の言葉を素直な気持ちで受け入れている。	2	7	3	3	2
79	報告や連絡、相談をするように心がけている。	2	4	6	3	3
80	お互いの状況や役割を理解し、協力や援助をしている。	2	5	6	2	3
81	園が目指す目標に向けて互いに協力している。	3	8	3	1	2

《向上》		1	2	3	4	総合
82	自己評価を基に、職員間で保育の内容を対話を重ねている。	4	8	3	0	2
83	保育のよさや議題を話し合っ明確にし、見直しや改善につなげている。	5	6	4	0	2
84	研修などを通して、互いに知識や技術の習得を図っている。	4	6	5	0	2
85	子育て支援や地域開放の在り方について、職員間で話し合いをしている。	11	4	0	0	1
改善策	・職員間での共通理解を深め、常に保育のふり返り、信頼される園運営を志していきたい。					

年齢別・担当別項目

《乳児保育担当者》		1	2	3	4	総合
86	乳児期にふさわしい安全で衛生的な環境を心がけている。	1	1	2	0	3
87	授乳は子どもの欲しがる時にゆったりと行っている。	0	3	1	0	2
88	ひとりひとりの育てに合わせ、家庭と連携しながら離乳食を進めている。	1	2	1	0	2
89	ひとりひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれる場所や時間を設けている。	0	3	1	0	2
90	寝返りのできない子はあおむけに寝かせるなど、乳幼児突然死症候群(SIDS)に配慮した保育をしている。	0	3	1	0	2
91	オムツ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている。	1	0	3	0	3
92	たて抱きや腹ばいなど、さまざまな姿勢がとれるように配慮している。	1	2	1	0	2
93	しぐさや声を介し、欲求を察知してタイミングよく対応している。	0	3	1	0	2
94	喃語にはやさしくこたえるようにしている。	0	3	1	0	2
95	やりとりや触れ合い遊びを大切にしている。	0	2	2	0	3
96	特定の保育者との継続的な関わりと共に、職員間の連携をとって保育している。	3	1	0	0	1

《年長児保育担当者》		1	2	3	4	総合
97	小学校との連携について理解している。	0	0	0	1	4
98	小学校との連携や就学に関する事項を指導計画の中に位置づけている。	0	0	0	1	4
99	小学校と交流する機会など設けている。	0	0	0	1	4
100	小学校教諭との意見を交換する機会を設けている。	0	0	0	1	4
101	保護者が小学校の生活について見通しを持てる機会を設けている。	0	0	1	0	3
102	保育要録や指導要録作成の際は、園長の責任の下に協力している。	0	0	0	1	4

《支援児保育担当者》		1	2	3	4	総合
103	障がいのある子どもの特性に配慮した個別の計画を作成し、保育を行っている。	0	2	0	1	2
104	障がいのある子どもとない子どもが互いに認め合い、共に成長できるように配慮している。	0	1	2	0	3
105	障がいのある子どもを持つ保護者の気持ちを受け止め、話をする機会を設けて支援している。	1	1	1	0	3
106	医療機関や地域の専門機関から、必要に応じて助言を受けている。	2	0	1	0	1
107	障がい児保育の研修などに進んで参加している。	1	1	1	0	2
改善策	・コロナ禍で地域との交流がなかった。今後は、地域の保幼小との連携し、子ども一人ひとりの発達に応じて、支援に努めたい。					